

研究室訪問（2年生対象） ～大学での研究活動をより具体的に知る～

2月18日（木）の授業終了後、連携協定を結んでいる大阪国際大学を訪問しました。

大学生にとっては「春休み」になっているにもかかわらず、2回生（2年生）の方々には非常に歓迎していただきました。

これまでの淀工オリジナルの研究室訪問と同様に、研究室の中まで足を踏み入れさせていただきましたが、今まで見てきた「工学部の研究室」とはかなり雰囲気が違いました。そして、大学で「研究することの幅広さ」について、またひとつ垣間見ることができました。

大学生の方々とは年齢が近かったこともあり、自身の高校時代に考えていたこと、地方から大阪の大学を受験するに至った経緯や、現在のクラブ活動やアルバイトのことなど、高校生にとってはすぐに役立つような、とてもプライベートな内容までをお話していただきました。

また、大学でのレポートの大変さや授業時間の長さといった高校生活との違いや、ファイナンシャルプランナーの資格取得や国際交流など、大阪国際大学ならではの特色も実際に聞くことができました。

なお、今回訪問したのは、グローバルビジネス学部の外島健嗣先生の研究室です。



生徒たちの感想（抜粋）

- 大学の設備はとても良く、出来たばかりの建物はとてもきれいだった。
- 大学生は自由な時間と勉強を上手に両立することが大切なのだった。
- （今まで見学した）理系の研究室とは違って、本がとてもたくさんあった。
- レポートが大変そうなので、今のうちに慣れようと思う。
- 学生の男女の比率も理系と違うのだった。
- 外国の大学とも数多く連携していて、グローバルなのだった。
- 学生さんの将来像に「起業家」というのがあり、興味をもった。